

V ワクチン接種の促進に向けて

ワクチン接種の全体スケジュール等

- 全体のスケジュール等について、概要は以下のとおりです。
- 現在、3回目接種を実施しているほか、4回目接種の準備等を進めています。

11月 >> 12月 >> R4.1月 >> 2月 >> 3月 >> 4月 >> 5月

12歳以上

1・2回目 接種

(R3.2.17開始～)

ファイザー

モデルナ

希望者の接種完了

引き続き、接種機会を確保

アストラゼネカ※1

3回目 接種

18歳以上

PF

TM

(12/1～ 開始)

(但し18歳以上のみ)

ファイザー

モデルナ

12～17歳

PF

(3/25～ 開始)

4回目 接種

(想定)

ファイザー

モデルナ

(3/25)

現時点から2ヶ月程度を目処
に4回目接種の準備を完了する
よう、国から事務連絡が発出

予定

5歳～11歳 (小児接種) ※2

1・2回目 接種

小児用ファイザー

(2/21～ 開始)

- ※1 アストラゼネカワクチンは、昨年8月から臨時接種に位置づけられていますが、原則40歳以上など、接種対象者が限られています。
- ※2 小児接種については、本人や保護者の「努力義務」適用外となっています。

ワクチンの接種状況について（全体）

- 現在、3回目の接種率は、約50%となっており、**全国第20位、近畿第2位**の数字となっています。
- 年代別でみると、65歳以上は、接種率が約88%と順調に推移していますが、12～64歳の接種率は、**約37%と低調に推移**しており、**この年代の接種率の改善が課題**となっています。

全体		4月17日時点	全年代人口接種率
接種済者数 (全人口：1,344,739人)	1回目	1,082,370人	80.48%
	2回目	1,073,356人	79.82%
	3回目	669,112人	49.76%

(内訳)		4月17日時点	対象人口接種率
65歳以上 (対象人口：420,147人)	1回目	401,675人	95.60%
	2回目	400,538人	95.33%
	3回目	369,003人	87.82%
12歳～64歳 (対象人口：802,407人)	1回目	674,870人	84.10%
	2回目	669,726人	83.46%
	3回目	300,109人	37.40%
5歳～11歳 (対象人口：77,170人)	1回目	5,825人	7.55%
	2回目	3,092人	4.01%
	3回目		

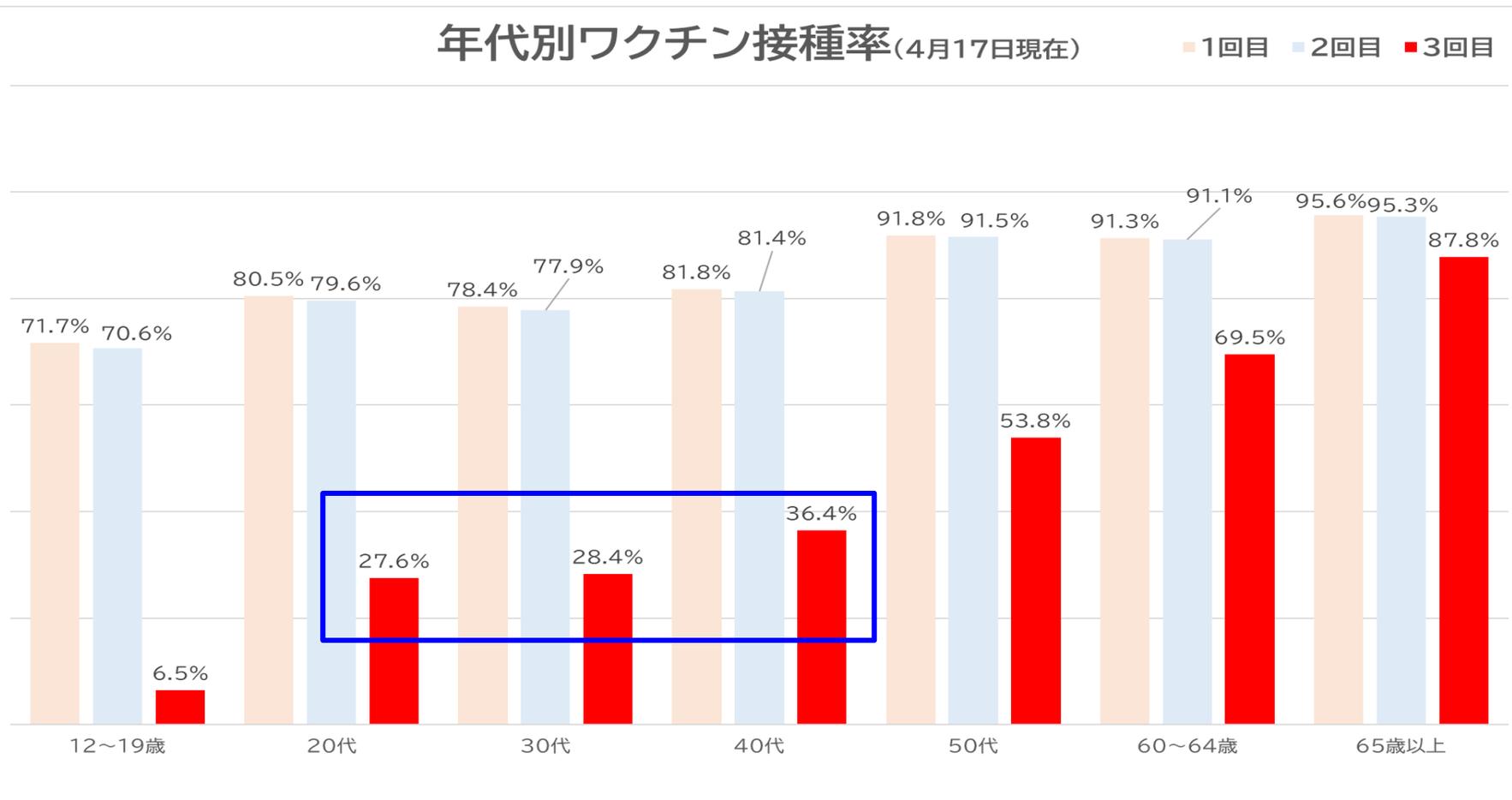
※接種済者数は、ワクチン接種記録システム（VRS）の実績を引用しています。

※人口は、令和3年1月1日住民基本台帳年齢階級別人口を引用しています。

ワクチンの接種状況について（3回目接種に係る年代別接種率）

- 更に詳しく、10歳刻み等で、接種率を確認すると、20代～40代の接種率が20%台～30%台と低調に推移していることが分かります。
- 今後、県全体の接種率を向上させるためには、この年代の接種率向上を図る必要があります。

年代別ワクチン接種率(4月17日現在)



※12歳～17歳への3回目接種は、本年3月25日に臨時接種として位置づけられたところです。

20～40代に係る接種の加速化の取組について

○20～40代に係る接種率の向上を図るため、以下の取組の充実を図ります。

1. 接種機会の確保

○県の広域接種会場等において、大学等や事業所単位での予約を受け付けるための相談窓口を設置（4月13日）

→この取り組みにより、学生や現役世代の接種機会を確保するとともに、大学・事業所等からの情報発信の充実等により、学生等へのワクチンへの理解を深めることで、更なる接種の加速化を期待。

○県の広域接種会場について、当日予約の受付を開始するとともに、大学等や事業所のクラスター対策の一環として、県内への通勤・通学者も、新たに接種対象者に追加。（4月12日）

2. 情報発信の充実

○20～40代は、オミクロン株感染による重症化の傾向が少ないことから、副反応への懸念に比べて、接種することに明確なメリットが見出しにくいという意識が生じている可能性も考えられる。

→引き続き、副反応に関する正しい情報や、3回目接種のメリット等に関する情報の充実等を図ります。

○その他、「春のいまなら。キャンペーン2022」と連携した、情報発信の充実等を図ります。

※なお、20代未満の世代についても、引き続き、接種機会を確保するとともに、有効性と安全性についてご理解のうえ、接種の可否を判断していただけるよう、情報発信の充実を図ります。

4回目接種に向けた準備について

- 3月25日に、「現時点から2ヶ月程度を目途に、4回目接種に向けて、会場や接種券の手配等の準備を完了するよう」、国から通知がありました。
- その後、現時点においても、国から具体的内容は示されていませんが、県では、市町村と連携し、早期に接種が可能となるよう、4回目接種体制の構築を進めています。
- 具体的には、市町村と定期的に行っている連絡会議において、接種券の準備状況や集団接種会場の確保、医師会との事前すりあわせ等の内容について、情報共有するとともに、隘路や課題等の整理を行っています。

【接種券の準備状況】

- ・全市町村で、システム改修等に向けた調整作業を既に開始済。
- ・今後、システム改修が終了し、対象者や開始時期等が決定すれば、接種券の印刷等を順次開始する予定。

【会場の確保状況】

- ・36市町村で、既に集団接種用の会場を確保済。

4回目接種に係る県の取り組み

現在、県でも、早期に4回目接種が開始されることを想定して、下記のような、準備を進めています。

市町村の集団接種会場への医師の派遣

○これまでから、県から医師等を派遣し、市町村の接種体制の下支えを実施して参りました。

【1・2回目接種時】

- ・県内17市町に研修医を派遣

【3回目接種時】

- ・県内12市町に医師を派遣

○5月以降（4回目接種時も想定）にも、医師を派遣することについて、準備を進めています。

県広域接種会場の早期設置

○1・2回目接種時と同様、3回目接種についても、県の広域接種会場を、県内2カ所に設置し、接種を実施しています。（～4月末）

○引き続き、5月以降に、4回目接種が開始された場合に、早期に4回目接種の会場として、運営ができるよう、準備等を進めています。

※上記の他、各市町村に対し、4回目接種の早期展開を図るよう、働きかけを実施しています。